

ながふじ学府 保健だより

第3号

平成29年2月17日

ながふじ学府 保健室

平成28年度 ながふじ学府学校保健委員会報告



ながふじ学府学校保健委員会

- 日時:平成29年1月17日(火)
午後3時~4時30分
- 会場:豊田東交流センター
- 参加者:(各学校PTA、学校職員) 67名
豊田中学校 19名
豊田北部小学校 24名
豊田東小学校 23名
その他 1名

ながふじ学府学校保健委員会(26年度までは豊田中学校区学校保健委員会)も、12回目となりました。今回は、袋井市親家庭児童相談員 親業訓練インストラクターの竹内好江さんを講師に招き、「親子関係をよくするコミュニケーション」について講話をしていただきました。講話を通して、親子関係をよくするためのヒントをたくさんいただくことができました。講話内容をまとめましたので、ぜひ御覧ください。

竹内好江さん講話 ~親子関係をよくするコミュニケーション~

「良好な親子関係を築くためには、親業が有効である。」

例えば、こんな時、親としてどのように答えるでしょうか？



状況 学校に志望校を記入して連絡する際にB高校にしようかC工業高校にしようか迷いました。父親は絶対B校がいいというし、母親も「B校の方がいいわ」と言います。先生も「君ならB校は大丈夫だ」と言っていたので、一応B校を受検すると決めて学校に連絡しました。B校と決めてしばらくしたある夜のこと…

子ども:「ねえ、高校受検のことだけどさあ、僕B校やめてC校にしようかな…」

あなた:

○親子関係をこわす、12の会話の型に注意しましょう。

- 命令「ダメよ!B校に行きなさい」
- 脅迫「C校に行ったら将来困るのは自分じゃないの」
- 説教「悪いことは言わないから、今から迷うのはやめなさい」
- 提案「とにかく全力をかけてがんばってごらん。B校でも大丈夫だから」
- 抗議「先生にはもうB校って言ったんだもの、今から変えるのは無理よ」
- 非難「今頃になってバカなこと言わないでよ。」
- 同意「いいよ、C校でも」
- 侮辱「また、いつもの弱気が出てきて、しょうがないわね」
- 解釈「成績がちょっと下がったからって、弱気になっているんじゃないの」
- 同情「お前たちの青春も、受検でかわいそうだね」
- 尋問「どうして?この間、みんな話合ってたんじゃないの?」
- ごまかし「まあ、あんまり考え込まず、おやつでも食べよう」



